学校番号	２０１

平成 30 年度　芸術科（音楽）

教科	芸術科	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	ＭＯＵＳＡ１（教育芸術社）						
副教材等	高校生の歌集　つどい（九州高等学校音楽教育研究会）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・器楽分野では、リコーダー、ギター、キーボードを取り扱います。
・日本の伝統的な音楽の学習として、箏の演奏、箏を用いた創作を行います。
・実技課題では個人で取り組むものの他、ペアやグループで取り組むものもあります。

２　学習の到達目標

１．音楽を愛好し、音や音楽に対する興味・関心を高める。
２．感性を高め、音楽のよさや美しさを感じ取って、創造的な音楽活動の工夫ができる。
３．自己のイメージを表現するための技能を身につけ、それを生かして創造的に表現することができる。
４．多様な音楽に対する理解を深め、創造的に鑑賞することができる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけ、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	授業態度 学習の取り組み状況（観察・聴取） 学習プリントの作成状況	学習の取り組み状況（観察・聴取）	実技課題進度状況 学習の取り組み状況（観察・聴取） 創作曲	学習プリント

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	歌の楽しみ	・腹式呼吸による発声で歌う。 ・ハーモニーを感じながら、二部合唱する。	○	○	○		a: 題材に関心をもち、学習に主体的に取り組もうとする。 b: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱の音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c: 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身につけ、創造的に表している。	観察・聴取 実技課題
	リコーダーの楽しみ	・リコーダーの特徴を理解し、基礎的な奏法を身につける。 ・ハーモニーを感じながら、二重奏する。	○	○	○		a: リコーダーの音色や奏法に関心をもち、学習に主体的に取り組もうとする。 b: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、リコーダーの音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c: 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要なリコーダーの技能を身につけ、創造的に表している。	観察・聴取 実技課題
	大作曲家の生涯と作品1	・ラヴェルの生涯について学び、楽曲を鑑賞する。	○			○	a: 題材に関心をもち、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。 d: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	学習プリント

2学期	独唱に挑戦	・曲想を感じ取り、発声やフレーズなどを工夫しながら、楽曲にふさわしい表現を追及して独唱をする。	○	○	○		a: 題材に関心をもち、歌唱の学習に主体的に取り組もうとする。 b: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱の音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c: 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身につけ、創造的に表している。	観察・聴取 実技課題
	ギターの楽しみ	・ギターの特徴を理解し、基礎的な奏法を身につける。	○	○	○		a:ギターの音色や奏法に関心をもち、学習に主体的に取り組もうとする。 b: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、ギターの音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c: 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要なギターの技能を身につけ、創造的に表している。	観察・聴取 実技課題
	大作曲家の生涯と作品2	・ベートーヴェンの生涯について学び、楽曲を鑑賞する。	○			○	a: 題材に関心をもち、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。 d: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	学習プリント

3学期	箏を弾こう	・箏の特徴を理解し、基礎的な奏法を身につける。	○	○	○		a:箏の音色や奏法に関心をもち、学習に主体的に取り組もうとする。 b: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、箏の音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c: 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な箏の技能を身につけ、創造的に表している。	学習プリント 観察・聴取
	創作に挑戦	・日本の伝統的な音階を用いて曲を創作する。	○	○	○		a:創作に関心をもち、学習に主体的に取り組もうとする。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、創作の音楽表現を工夫し、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 c:創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身につけ、創造的に表している。	観察・聴取 創作曲
	キーボードの楽しみ	・ピアノの特徴を理解し、基礎的な奏法を身につける。	○	○	○		a:ピアノの音色や奏法に関心をもち、学習に主体的に取り組もうとする。 b: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、ピアノの音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c: 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要なピアノの技能を身につけ、創造的に表している。	観察・聴取 実技課題

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。